

冒険心が飛翔する“100人の戯空間” 〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋2-1-27 周防町ウイングス6F
ウイング フィールド TEL(06)6211-8427 FAX(06)6211-6312
 ウイングフィールド公式サイト URL <http://wing-f.main.jp/>

5/10(木) 7:00 作／竹内銃一郎 演出／松本修 **週劇**
 11(金) 7:00 「みず色の空、そら色の水」
 12(土) 1:00
 6:00 出演／the nextage
 13(日) 1:00 料金／一般前売 2,300 円 一般当日 2,500 円
 6:00 学生前売 1,800 円 学生当日 2,000 円

17(木) 7:00 ●● 総合演出／古川剛充 **週劇**
 18(金) 7:00 ☆● 「スプライサー」◎ 脚本・音楽／小西透太 演出／古川剛充
 19(土) 12:00 ☆
 2:30 ◎ 「思い立ったら吉日」☆ 作／さいとうひろき 演出／中路輝
 5:00 ☆● 出演／劇団「劇団」
 8:00 ◎ ●=アフターイベントあり
 20(日) 12:00 ☆
 2:30 ●● 料金／前売一般 2,500 円 U-22 前売 2300 円
 5:00 ☆ 高校生以下 1000 円 (要学生証) 当日券 +500 円

22(火) 8:00 脚本・演出／マツキクニヒコ **初劇**
 23(水) 3:00 「ISLAND」
 8:00
 24(木) 3:00 出演／フラワー劇場
 8:00 料金／一般 2,500 円 学生 1,500 円 (要学生証)

26(土) 4:00 作・演出／neco. **若劇**
 7:00 「(Let's) Take it easy at home??」
 27(日) 11:00
 2:00 出演／猟奇的ピンク
 5:00 料金／一般前売 2,500 円 当日 2,800 円 他

ウイングフィールド提携公演 **旅劇**
 31(木) 7:00 作・演出／山口西
 6/1(金) 1:00★ 「私の家族」 料金／
 7:00 前売 3,000 円 (事前決済)
 2(土) 1:00★☆☆◎ 出演／トリコ・A 当日 3,500 円
 7:00◎ ★ 終演後ポストパフォーマンスあり 初日割 2,500 円 (要予約)
 3(日) 1:00★ ☆ 無料保育サービス実施 他各種割引あり。詳しくは
 ◎ 聴覚障害対応字幕サービス実施 劇団ホームページをご覧ください。

※チケット券種、割引情報等は各団体のチラシ、ホームページ等をご確認下さい。

第 20 回関西現代演劇俳優賞 (1)

九鬼 葉子

第 20 回関西現代演劇俳優賞受賞者

- (男優賞) 緒方 晋 (The Stone Age)
 ・ iaku 「ハイツプリが飛ぶのを」
 孫 高宏 (兵庫県立ピッコロ劇団)
 ・ 兵庫県立ピッコロ劇団 「歌うシャイロック」「かさぶた式部考」
- (女優賞) 林 英世
 ・ 清流劇場 「メアリー・ステュアート」「オイディプス王」
 ・ 林英世ひとり語り 「桜の森の満開の下」
- (奨励賞) 松原 由希子 (匿名劇壇)
 ・ 匿名劇壇 「悪い癖」
 ・ 壁ノ花団 「ウィークエンダー」

他の候補者

- (男優賞候補) うえだひろし(リリパットアーミーII)、上瀧昇一郎(空晴)、高口真吾、田中遊(正直者の会)、
 F. ジャパン (劇団衛星)、原竹志・三坂賢二郎 (兵庫県立ピッコロ劇団)
- (女優賞候補) 今井佐知子・森万紀・吉江麻樹 (兵庫県立ピッコロ劇団)、大熊ねこ (遊劇体)、
 高安美帆 (エイチエムビー・シアターカンパニー)、中村京子 (空の驛舎)、森川万里 (桃園会)
- (奨励賞候補) 古谷ちさ (空晴)

孫高宏から、凄まじい気迫が伝わる。「歌うシャイロック」では冒頭、磊落なシャイロック像を造形。そんな男が冷酷な言動に至る過程=ユダヤ人として長年差別された恨みと、娘が傷付けられたことへの父の痛恨を緻密に表現。裁判で怒りを爆発させる演技に、凄味。「かさぶた式部考」では、夢之助役。智修尼と豊市の濡れ場を目撃し、激昂して暴力を振るう。上質の演技では、過去の時間性まで見える。幼い頃から無念と喪失感の中に生きてきた個人史を想像させる演技。

松原由希子は、「悪い癖」で、夢に挫折し引きこもった柳瀬役を好演。現実と妄想を往還する演技が精確。もう現実に戻ってこれないことを予想させる、スリリングな表情。

うえだひろしは、メシアタープロデュース「人恋歌～晶子と鉄幹～」の与謝野鉄幹役。威厳

のある佇まい。妻・晶子とは、生涯「恋」の中 にいたのだろうか。関係性の描写が卓越。

上瀧昇一郎は、「遠くの花火」で、息子を失った悲嘆と葛藤、再生を真に迫り表出。

三坂賢二郎は「歌うシャイロック」で、恋人を裏切り、傷つけるロレンゾー役。複雑な心理を繊細に描写。原竹志は、一瞬の表情に、人生の様々な思いや歴史を重層的に込め、どきりとさせられる。「長い墓標の列」では、開戦直前の狂った時代の中、狡猾にならざるを得なかった冷徹な学者の悲哀を静かに滲ませた。

中村京子は「どこかの通りを突っ走って」で、深津篤史の台詞を体になじませ、様々な人物像を自然体で演じ分け、不思議なファンタジーの具現化に貢献した。

(敬称略)

(演劇評論家)

—第20回関西現代演劇俳優賞(2)は次号、太田耕人が担当—